

上小山田地区資源ごみ処理施設連絡会（第6回）

議事要録

- 日時 2020年2月19日（水）18時30分～19時40分
- 場所 忠生市民センター 2階ホール
- 出席 委員：田中会長、安達副会長、中丸委員、小川委員、彦根委員
- 欠席 0名

- 事務局 : 荻原環境資源部長、田中循環型施設建設担当部長
循環型施設整備課 : 平本課長、深澤担当課長、古屋統括係長、吉池担当係長、菊地主任、
中島主任、田中主事、高橋主事
環境政策課 : 宮坂課長、川瀬担当課長
資源循環課 : 林課長
3R推進課 : 高梨課長
コンサルタント : 株式会社 日建設計

- 傍聴者 3名

- 配布資料
 - 資料1 第5回連絡会でのご意見・ご要望【抜粋】
 - 資料2 資源ごみ処理施設整備完了までの対応について
 - 資料3 地区連絡会等における今後の協議事項

1. 委嘱式

委員の再任時期にあたり、委嘱状を委員（5名）に手交した。その後、会長、副会長の選出において、会長には田中委員が、副会長には安達委員が選出された。

2. 開会の挨拶

荻原環境資源部長より、開会の挨拶を行った。

3. 事務局紹介

町田市の担当及びコンサルタントについて、紹介を行った。

4. 確認事項

○ 確認事項1 これまでに頂いたご意見・ご要望について

資料1を用い、事務局から、第5回連絡会で委員から頂いたご意見・ご要望に対して検討した結果について説明を行った。

(以下、質疑応答)

- ・小川委員 今回初めてなのでお聞きしたいが、協議事項1の再生可能エネルギーの箇所、太陽光パネル等と記載があるがどのような内容なのか。
- ・事務局 資源ごみ処理施設の建屋に設置することを計画している。例えば、風力発電の簡易的な装置をつけたり太陽光パネルを設置することで、環境に貢献できる施設の要素として考えている。
- ・小川委員 それであれば市役所の上に設置すればよいのではないか。
- ・事務局 資源ごみ処理施設の見学に来た子供たちの環境学習の一部として、再生可能エネルギー等可能なものを計画するということがコンセプト内に盛り込まれている。環境学習の項目でいただいたご意見への反映である。
- ・彦根委員 地元の方々のご意見を受けて施設を計画しているのか。地元にはどのようなメリットが出てくるのか。
- ・事務局 この計画を策定する段階で、この敷地を建設用地とさせていただきたいと上小山田町内会の方々にお話しさせていただいた。地区連絡会を立ち上げる前にクリアしなければならない課題や、地域貢献的な内容については検討させていただいた経過がある。
- ・彦根委員 地元への対策について、この連絡会の資料として出ているのか。
- ・事務局 本地区連絡会は、施設に関する検討のみであり、地域貢献のような要望事業については別の会議で町内会の皆様と話し合いする場を設けている。
- ・彦根委員 いわゆる今の忠生地区のまちづくり協議会で網羅しているのか。
- ・事務局 あり方プランの中に入っている内容もある。上小山田町内会からいただいている要望事業もあり、それに関しては町内会の皆様との話し合いの場を持たせていただいている。
- ・彦根委員 地元の協議の中で、どこが問題となっているのか。上小山田地区の代々の会長も苦労されていると思う。
- ・事務局 地域に対するメリットとして、前回の議論の中でお出ししているコンセプトの中に、地域の皆様が活用できる会議室の設置、広めの駐車場を設置するというお話をいただい

り、そちらを盛り込んだ形で施設計画は進めている。

- **彦根委員** 我々は、周辺の町内会のバックボーンの中で支援をしていきたいと思っている。その点について現状どのような動きなのか見えないため、その点をできれば今日発表していただきたい。
- **事務局** 史実に関する検討ということですが、本日は周辺の環境の要望事業についての資料等は用意しておりません。
- **川瀬環境政策担当課長** 毎年、上小山田町内会の方にはご要望いただいている内容の進捗状況を説明させていただいている。新しい年度に入ったら、市役所庁内でもその進捗状況を取りまとめた上で報告させていただく。その方法等はまた町内会長と相談させていただきながら実施を予定している。
- **田中会長** この資源ごみ処理施設の建設に当たり、上小山田町内会等から様々な要望事項があった。この資源ごみ処理施設に車を搬入させるためには道をもっと広げてくださーいといったことや、歩道を設置してくださーいといったことを、3～4年前にまとめて、20～30項目程度出している。その内容について、今年度はどのようなことが進んだのかということは確認している。

それに加えて、1カ月ぐらい前の小山田まちづくり協議会でも、市から来ていただき、説明していただいた。この資源ごみ処理施設の設置や道路の関係がなかなか進まないのは、仕方ない部分もあるが、要望についてはできることから少しずつでもいいので進めていただきたい。例えば、上小山田の場合は、バス停が非常に狭く、待っている人が大変という要望を出したところ、1年ぐらい前に地権者のご協力を得て対応していただいた。資源ごみ処理施設が遅れることがあっても、要望事項だけは少しでも前進させてくださーいということで町内会としても毎年確認している。道路を拡幅する工事は5年以上の歳月がかかると思うが、町田市も対応いただいているので、皆さんもご協力をよろしくお願ひしますということで町内会から要望している。今後とも、その進捗状況については毎年確認をしていきたいと思う。

- **安達副会長** ごみ資源処理施設をつくるに当たり、今一番問題なのは道路ではないかと思う。J R東海の工事等にも多少影響はしてきている。というのは、北側に道路が抜けるため地域住民の皆さんも納得してほしいとのことで進めるという形を出した。それに付随して、同じところに資源ごみ処理施設をつくるに当たっても、施設完成後のいろいろな意見等が集約されている。これは素晴らしいことだと思うが、まず原点の道路の問題をこれから先、市としてはどのように地権者の人たちとの話し合い、接点を持っていくのか。これから先のいい回答をいつごろまで出せるのか、その辺りの流れを説明していただきたい。
- **田中会長** 地権者との交渉の状況を説明していただくことが一番いいと思うが、一番難しいところだと思う。
- **安達副会長** 基本となる道路の問題を解決しない限りは先に進まないのではないかと思う。絵に描いた餅にしてはいけない。市の考え方をはっきり提示してもらったほうが、我々一委員としても、住民から説明を求められたときに受け答えできると思う。ただ漠然とした説明では私たちが対応できない。地区長会議のときに来て、進捗状況を説明していただくのは大いに結構だと思うが、その内容が伴っていないとなれば意味がない。道路の問題をどう解決するのか、どう考えているのか。
- **事務局** 道路の担当より聞いている情報について説明させていただく。

忠生579号線については、田中谷戸街づくり協議会という地元の組織と市において協議を進めている。現時点では協議会との合意を受けている道路線形に基づき、構造物、排水、大まかな設計、地質等は完了している状態である。また、道路管理者、警察との協議、東京都の環境調査等についての協議は概ね進んでいるという報告をいただいている。また、田中谷戸街づくり協議会と、それぞれの地権者との調整について市も入り進めているとは聞いているが、進捗はなかなか見られないと報告をいただいている。

用地測量については、地権者の合意がないと実施できない場所があり、現状は4割程度が進んでいると聞いている。地権者との協議が継続的に進んでいるという段階で、具体的にこれからも引き続き進めていくということである。

- **田中会長** 私の方にも、リニア関係者等の方が来られて話をしている。リニアの方で、雨水管を大きくするという計画が進んでおり、今仮設のものをつくっているとのことだが、1t車ぐらいしか入れない細い道では進められないとのことで、大型ダンプのすれ違いができるようにしないと大変と、リニア関係者等にも話をしている。町田市の道路管理の課長にも、地権者が了解してくれるのであれば、太い道をつくってもらったほうがいいのではないかと話している。企画調整課長にも話している。リニア関係者にも協力していただき、想定してつくってもらえればいいと思っている。両方からの考えでいろいろな方と話し、町田市にて調整していただくということをお願いしている。
- **中丸委員** まちづくり協議会が7月にあるのだが、この地区連絡会においては、少し冷却期間を置いたほうがいいのではないかと話している。多分、市の方もそのような状態でやっておられるのではないかと思う。
- **小川委員** 協議事項1というのは、先ほど上小山田でも下小山田でもと言っていました、下小山田の協定書のことか。市長と結んでいる協定書の話ということか。
- **事務局** 下小山田町内会からいただいているのは熱回収施設に対する要望事業ということで協定を締結させていただいている。上小山田の資源ごみ処理施設の要望としては、また別にいただいているものがある。その中に周辺の道路の話があり、そのことである。
- **小川委員** わかりました。
- **彦根委員** 環境部対応だけではだめである。この会議に市の道路部にも出席いただきたい。
- **小川委員** 道路ができなかったら何もできない。道路部からの書類を読み上げても意味がない。もし会議を行うのであれば、道路部の人も出席し状況を説明していただきたい。道路をどのように早く解決するかが第一である。道路ができるということになってからこういう会議をやっても平気だと思う。
- **事務局** 前回も同様にご指摘をいただいている。道路ができないと施設はつからないというお約束のもとに検討を始めている施設であるため、道路ができるという具体的な方向が出た段階で施設の具体的な検討をとということが正しい進め方だと理解している。ただ、余りにも時間があいてしまうことと、進捗についてお伝えできることを、この場を使ってお話ししていただくということで、年に一度開催させていただいている。次回以降については道路との共催にするのか、それとも、施設について具体的な動きがなかったら開催しないという選択肢もあると思っているため、会議の催し方については検討させていただきたい。

5. 協議事項

○ 協議事項1 資源ごみ処理施設整備完了までの対応について

資料2を用い、事務局から、資源ごみ処理施設整備完了までの対応について説明を行った。

(以下、質疑応答)

- ・ **田中会長** この分別方法については、我々も理解している。道路ができないことには建物はできないのだから、分別といったようなものは後回しにさせていただき、まずは道路の進捗状況について説明をしていただきたい。
- ・ **事務局** 今回御説明させていただいた内容は、上小山田地区の資源ごみ処理施設の分別についてではない。現在建設している熱回収施設が2022年1月から稼働すると、既存の工場を解体する作業に入るため、既存の工場で行っている分別処理や貯留スペースがなくなってしまう。そのため、新しい上小山田と相原の資源ごみ処理施設ができるまでの間、どこかで処理をしなければならないため、検討を行っている。新しい施設の分別方法については会長のおっしゃるとおり、新しい施設の目途が立ってから具体的な検討及び説明をさせていただく。今日の説明内容は、現在のリサイクル文化センターの工場棟で行っている作業が新しい施設に切り替わったときに、近くの排水浄化センターの倉庫を使わせていただくといった対応や、資源ごみ処理施設ができるまでの間、新しい工場棟の隙間に貯留スペースとして置かせていただくことを考えているという説明である。
- ・ **彦根委員** 資源ごみ分散化の構想は大変結構である。その中で、環境問題を捉えると、ごみ収集のトラックの分散化といったことが大事だと思う。今は、一点集中型でリサイクルセンターに運ばれて、声には上げないけれども危険度も伴うし、排気ガスの問題など、大きく捉えるとそういった問題がたくさんある。そのため、分散化の意味合いというのは、資源の再利用も目標としてあるが、分散してごみの収集トラックを近距離で運ぶようにしようというねらいだと思う。理想的に言えば、鶴川地区、町田地区はそのような施設はないので、この辺りにつくれば一番、機能上もいいと思う。ただ、もう町が発展しているため、計画できないことはわかる。そこで、上小山田地区や相原地区に持ってくるに当たっては、地元の方々のご理解を得るために十分協議をしなければならない。それは行政の力であり、この問題についての原点だと思う。

また、きちんとした計画プランと、道路は何mでトラックはどのぐらい入りますかといった内容の地元説明はされたのか。

- ・ **彦根委員** 資源化ごみ処理施設を上小山田につくるという地元に対する説明会である。
- ・ **事務局** 上小山田町内会の皆様にはこの地区連絡会を立ち上げる前に、計画についての概要、想定される通行量、そのときに道路が現時点では狭いという説明を行っている。
- ・ **彦根委員** ここで処理する車両の台数、それによって道路幅をどの程度にするのかといったことも計画発表されたのか。
- ・ **事務局** その時点でわかっている範囲のご説明、ご回答はさせていただいている。
- ・ **彦根委員** そうですね。その次の課題としてはどこなのか。
- ・ **中丸委員** 上小山田については、何年か前に、この施設をつくるに当たり、地元の要望を市に提出している。それは町内に回覧等をいるため一応認識されていると思う。

また、暫定方針案の中にリレーセンターみなみの分を浄化センターに置いてあるとあったが、これは地元の人々の許可を得てやっているのか。結局、プラスチックというのは一回火災が

起きると大変なことになるため、その辺りは地元周辺の許可を得ているのか。

もう1点は、廃プラスチックについて、一般市民が廃プラスチックと塩ビを見分けるにはどのようにすればよいのか。物によっては、「容器包装」「プラ」と書いてあるが、書いてないものもある。書いてないものについてはどのように分別していけばいいのか、これは市が今後広報等で教えていただければ市民としては助かるのではないかと思う。市は、これがわかるように今後5年間なり7年間、まだ猶予があるため、その間に市民の方々にお知らせしていただければと思う。

- ・**事務局** 1問目の排水浄化センターについては、暫定処理の方針として検討したばかりである。リレーセンターみなみから出てきたバールをどこに置けるか、そのまま直送できないか等々いろいろ検討した結果、なるべくまとめた形で持っていけるのが効率的ではないか、また現時点で集められている収集車のような大きさの車が入れる場所はどこかという点で、浄化センターの横の倉庫に貯留ができるということがわかったため、方針案として出させていただいている。どのような貯留スペースにするか、車両はどのように入ってくるか、また周辺の方々にどのように説明するかという点は、これから具体的に進めていく予定である。
- ・**宮坂環境政策課長** 容器包装プラスチックの件について回答させていただく。容器包装プラスチックは「プラ」のマークがついているものが多いが、それだけでは見分けのつかないものもある。例えば野菜を包んでやるようなフィルムやネットみたいなものは「プラ」とは書いてないが、容器包装プラスチックというものもある。お話にあったように、実際に収集が始まる前に早目に市民の皆様、住民の皆様には、環境広報紙やいろいろな講座等を通して周知を行っていきたいと考えている。

○ 協議事項2 地区連絡会等における今後の協議事項、進捗状況報告について

資料3を用い、事務局から、今後の協議事項について説明した。

(以下、質疑応答)

- ・**田中会長** 2020年度については、2月の開催予定ということで、1年後である。その下に「※現時点での想定であり、今後の進捗により変更する可能性があります」、「※事業進捗に応じて地区連絡会の臨時開催を検討させていただきます」ということが書いてある。何とか進めて頂き、動きがあったといったことで、臨時開催をしていただければ非常によい。交渉については前向きに、前進ということでよろしくお願ひしたい。
- ・**小川委員** 2027年までに整備計画がある中で今の状態を市はどのように考えているのか。去年から1年あって、今回開いたわけだがほとんど何も状況が動いていない。また来年やっても同じだと思う。今度は市としての対応について案はあるのか。
- ・**田中循環型施設建設担当部長** この上小山田については忠生579号線という道路の問題が非常に大きい。先ほどからご意見をいただいているように、道路ができないと施設もできないという状況に追い込まれている。私共も道路部と意見はかなり交換しているが、進展が見られないというのが現状である。

町田市にとって、資源ごみ処理施設がないと市民の方が困る、不便が生じるということがあるため、暫定ではあるが別のところを探し始めている。ここについて詳しいことが言える状況ではないため、ご理解いただきたい。

- ・小川委員 暫定の処理方法1、2、3とあるが、このまま施設は新たにつくらないで、暫定がそのままとなってしまう可能性はないか。
- ・田中循環型施設建設担当部長 この会議は上小山田であるが、相原のほうにも資源ごみ処理施設をつくろうという形で動いている。相原の状況を説明させていただくと、測量が8割程度終わり、計画決定に向けて地権者の方に同意をいただいているところである。来年度、都市計画決定に進められる予定である。都市計画決定が1つのキーポイントであるが、その手続きが終わると、スケジュールどおりの2025年が達成できるかなというところである。
- ・小川委員 暫定がそのまま固定にならないようにしてもらいたい。
- ・田中会長 それでは、今日の委員のご意見ですと、道路の担当も会議に出席いただき、進捗を報告してもらうのが一番かなと思う。
 もう1つは、上小山田の問題ではなく、忠生地域・バリューアッププランが達成できないと、今のリサイクル文化センターの中央の敷地、スポーツ公園とリサイクルセンターとの間の敷地のすばらしいまちづくりができないのではないかと思うため、その点もひとつよろしくお願ひしたい。それでは、以上をもって、事務局に返させていただきます。
- ・事務局 委員の皆様、長時間にわたるご審議、ありがとうございました。先ほどの説明、ご意見の中にもあったように、次回の地区連絡会については改めて会長とご相談させていただきながら日程等お知らせする。いいお知らせが持っていけるように頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

6. 開会の挨拶

田中循環型施設建設担当部長より、閉会の挨拶を行った。

(19時40分 閉会)